

就労支援センターりぼん

1) R7年4～6月の実績報告

1日あたり利用人数 4月 21件 5月 16件 6月 17件
登録者 542人 (6月末現在)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	計
4～6月就職者	4	13	10	0	27
4～6月離職者	0	3	5	0	8
前月までの就職者	32	162	135	2	331
合計	36	172	140	2	350

(6月末現在)

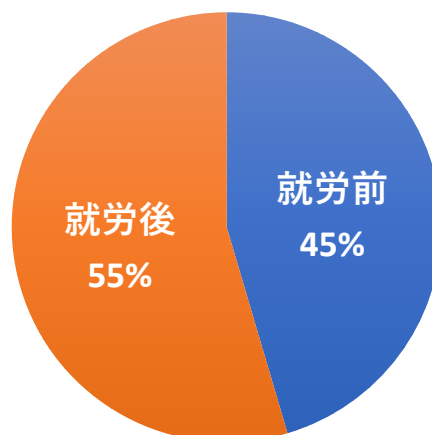
2) 支援内容

①	経緯と今後の支援
入職	わかくさ特別支援学校の卒業生が10名就職し、今後は学校から少しずつ支援を引き継いでいく。身体障害者の4名と知的障害者の2名、精神障害者の9名がりぼんや就労移行を利用し就職され、今後は定着支援により面談や訪問も検討していくが、休みが取りにくい方や職場が忙しく訪問が難しい方は電話対応もしていく。
離職	精神障害者の男性2名が離職となる。2名とも体調が安定せず休職をし、結局退職となってしまった。そのため、体調の安定を図りながら再就職を目指していく。また、精神障害者の女性1名はクローズ就労なのだが当センターでは障害者雇用としてのカウントをしていたことから、今回変更する形にした。
転居	精神障害者の女性1名と知的障害者の男性2名が他市に転居となった。そのため、転居先の住居地の就労支援センターへ引き継ぎを行った。
転職	精神障害者の男性1名は農園系で働いていたが、外作業により体力が続きにくいことから主治医に相談し、その主治医が産業医をしている製造系の会社へ転職する。知的障害者の男性1名は、卸売・小売業で働いていたが、勤務先が移転することになり同じ卸売・小売業へ転職する。今後も定着支援を行っていく。

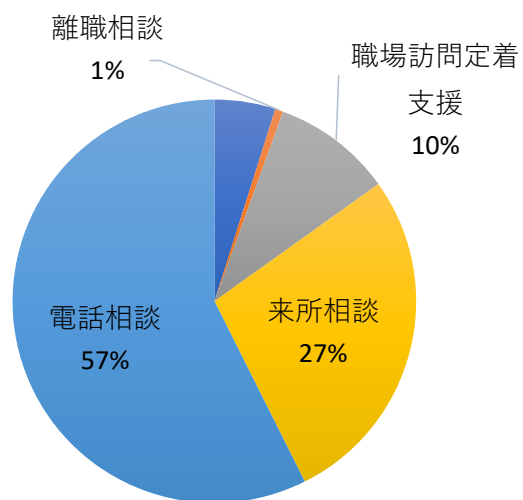
- ② 4～6月は年度初めとなり、新規登録者や就活者の面談の頻度を増やして就職に向かいやすくしていく方針の元、安定してきている就労者の方々に面談の頻度や時間の短縮をお願いしてきたことにより、1日の相談件数が昨年度に比べて少なく抑えられている。また、予定していた面談が当日にキャンセルになるなど予定が急に空いてしまうことがあり、その分追われてやっている事務作業に幾分余裕が持てたこともあった。昨年度までは登録説明会を行っていたが、4月からはすぐに登録を案内せず説明会に参加した後の初回面談時に登録するかどうかを相談する説明会に変えている。狙いとしては、就職の前に福祉サービスを検討している方がいた場合に登録してサービスにつながるまでに時間をかけないようにすること、今後も登録者や就労者が増加傾向にあることから、就職支援や定着支援を強化していきたいためである。今のところ、説明会への電話の問い合わせや来所相談では就職を検討しているかの確認してから説明会につなげているため、初回面談で福祉サービスにつなぐようなケースはないが、今後も就職を希望している方へ手を差し伸べられるようにしていきたい。
- ③ 4～6月にかけて埼玉県障害者就労支援センター等連絡協議会全体会や障害者就労支援機関情報交換会、西部圏域情報交換会が開催され、10月から始まる就労選択支援事業について取り上げられたりした。各市町の進捗状況では、大きな動きはないが自立支援協議会の部会で検討や勉強を始めているところや、なかなか手を挙げる事業所がないなどの回答が多かったが、取り組みを始めている自治体や支援機関もあった。

大分類	小分類	計
就労前に関する支援	訪問相談	0
	来所相談	168
	電話相談	275
	就労準備・面接指導等	45
	同行・企業見学	4
	職場開拓	2
512	職場実習	18
就労後に関する支援	転職相談	30
	離職相談	4
	職場訪問定着支援	59
	来所相談	169
615	電話相談	353
その他	会議等(ケース会議以外)	9

就労前後の支援割合



就労者の支援内容



就労前の支援内容

